

[製造業]

和紙加工品

株式会社五十崎社中

大洲手すき和紙の技術とフランス 伝統のギルディング技法が融合

■企業プロフィール

〒795-0303
愛媛県喜多郡内子町五十崎甲
1620-3
TEL/0893-44-4403
FAX/0893-44-4403
設立/平成20年7月
資本金/300万円
事業内容/手すき和紙製品の製
造、販売
http://www.ikazaki.jp/
ikazakishachu@space.ocn.ne.jp

■社長プロフィール

齋藤 宏之
1972年神奈川県生まれ。日本大
学卒。システムエンジニアとして勤
務のち、内子町に1ター。2008
年(株)五十崎社中設立。現在に
至る。
座右の銘は“知行合一”
趣味はカメラ。



代表取締役

Hiroyuki Saio

齋藤

宏之

世界でどこでしか手に入らない、唯一無二のモノでありつづける



元SEを魅了した 日本とフランスの伝統の技

平成20年、13年間勤務したシステムエン
ジニアの職を辞して奥様の地元である内
子町五十崎に1ター。全国商工会連合会
や日本商工会議所が中心となり、伝統工芸
品を世界に通じるサービスにするため立
ち上げた「JAPANブランド」に取り
組む内子町商工会に共鳴。伝統的工芸品で
ある大洲和紙の世界進出に貢献できたら
と、平成20年7月に会社を設立。師と仰ぐ
フランスのデザイナー、ガボー・ウルヴィ
ツキ氏を内子町に招待し、2年間、**大洲和**

スローガン

- 世界を海援隊のように駆けめぐり、広い
舞台で外貨を稼ぐ「世界の海援隊」にな
ろう

オリジナル製品・サービス

- 手すき和紙とフランスの金箔技法を融合
させた「ギルディング和紙」
- 若者にも取り入れやすい和紙製品ブランド
「楚々(そそ)」

紙と金属箔加工技術・ギルディングを融合さ
せた新たな和紙加工品の試作を重ね、世界に一
つの「ギルディング和紙」の商品化に成功した。

伝統的工芸品×大洲和紙 大胆な発想で商品開発に挑む

大洲和紙の手すき和紙製造販売元・天神
産紙工場から和紙の供給を受け、その和紙に
ギルディングを施し、壁紙やタペストリーな
どの大型の商品から、小物やステーションナリ
ーなどの小さなものまで幅広く製造する。一
枚ずつ丁寧に手すきされた和紙に専用の糊
をつけ、金属箔を叩きこみ、コーティングや
プレスなどを施す工程のほとんどが手作業
による製造で、インテリア素材としての価値
も高い。伝統工芸としての技や趣を大切にし
ながらも、若手デザイナーのデザイン型を使
用するなど、若い女性層の開拓にも力を注
ぐ。女性向けのアイテムとして開発された
「楚々」シリーズは、ポチ袋や和綴じ帳、泡紙
風船などに蛍光色やポップなカラーを使用
し、普段から和紙に慣れ親しんでもらいたい
と商品化されたもの。手すき和紙をキー
ワードに、伝統工芸の枠におさまらない自由
な発想から生まれた世界に通用する品だ。

世界唯一の技法を武器に 和紙の新たな使用方法を提案

平成26年、日本の手すき和紙技術として和
紙がユネスコ世界無形文化遺産に登録され
たのをきっかけに、和紙が見直され、新たな
利用方法が広がると思われる。和紙に新たな
息吹を吹き込んだ「ギルディング和紙」の壁
紙を中心に、インテリア業界へも和紙のPR
を進める計画だ。さらに平成27年5月から開
催されるミラノ万博への出品も決定。世界唯
一の技法に注目が集まること期待されて
いる。